

平成 23 年度

佐世保工業高等専門学校学生募集要項

〔1〕 募集人員

学 科 名	募 集 人 員	備 考
機 械 工 学 科	40 名	推薦による募集人員は、各学科とも入学定員の 30%程度とします。
電 気 電 子 工 学 科	40 名	
電 子 制 御 工 学 科	40 名	
物 質 工 学 科	40 名	

〔2〕 選抜の方法

入学者の選抜は、推薦によるものと、学力検査によるものとの2つの方法で行います。

〔3〕 推薦による入学者の選抜

1. 選 抜 者 数

学 科 名	選 抜 者 数	備 考
機 械 工 学 科	12 名程度	推薦による志望学科は第1志望に限ります。
電 気 電 子 工 学 科	12 名程度	
電 子 制 御 工 学 科	12 名程度	
物 質 工 学 科	12 名程度	

2. 推 薦 人 員

1 学校から推薦できる人員は、機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、物質工学科それぞれ各2名までとします。

3. 出 願 資 格

平成23年3月に中学校卒業見込みの者または中等教育学校の前期課程修了見込みの者で、次の要件を満たし、在籍学校長が責任をもって推薦できる者としてします。

- (1) 健康で、人物が優れていて、技術者としての適性が認められる者
- (2) 在籍学校における第1学年から第3学年までの9教科(英語以外の選択教科を除く。)の成績が5段階評価で合計110以上の者
- (3) 本校に入学する意志が強固であって、合格した場合は必ず入学する者

4. 願 書 受 付

期 間	平成23年1月7日(金)から1月14日(金)まで(必着)
時 間	午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日及び祝日は受け付けません。
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号 佐世保工業高等専門学校学生課教育支援係

5. 出 願 手 続

入学志願者は、次の書類等を取りまとめ、在籍する学校長を経て本校学生課教育支援係に提出してください。願書を郵送する場合は、必ず**書留郵便**としてください。

① 推 薦 書	本校所定の用紙を使用し、在籍する学校長が証明したもの。
② 入学志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
③ 入学志願書・ 写真票・受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。また、写真票及び受検票の所定欄には、3ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽のたて4cm、よこ3cmの写真を貼付してください。
④ 調 査 書	本校所定の用紙または公立高校用様式を使用し、在籍する学校長が証明したもの。(第3学年の記録は、平成22年12月末現在で記入してください。)
⑤ 入 学 検 定 料	16,500円 本校所定の振込用紙により志願者本人の名前で、 金融機関(ゆうちょ銀行を除く)の窓口から振り込んでください(ATM使用不可) 。振り込み後「 検定料納付証明書 」を入学志願書の裏面に貼付してください。 振込期間 平成22年12月13日(月)～平成23年1月14日(金) ※ 振り込みの際は、銀行の営業日や営業時間を十分に考慮して手続きを行って下さい。なお、検定料を願書受付最終日に振り込む場合においても、最終日午後5時までに 出願書類一式 を提出しなければなりませんので注意してください。
⑥ 返 信 用 封 筒 (別 添)	受検票送付用として、あて先・郵便番号を明記し、80円切手を貼付したもの1枚(速達を希望する場合は350円切手を貼付してください。)ただし、持参の場合は不要です。
⑦ あ て 名 票	2枚とも志願者本人の住所、氏名、電話番号を記入したもの。

6. 身体等に障がいがある入学志願者との事前相談

入学志願者で身体等に障がいがあるため、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願に先立ち学生課教育支援係に相談してください。

なお、相談の時期は、回答に要する時間等を考慮し、「推薦による入学者選抜」の志願希望者は、平成22年12月22日(水)までとさせていただきます。

7. 学年成績一覧表の提出

平成23年度の公立高等学校入学者選抜実施要領等により、在籍する学校長が作成した3年生の学年成績一覧表（学級別・番号順）を提出してください。その際、必ず本校受検者のデータが識別できるよう該当欄に氏名を明記し、マーカー等で下線を引いてください。

提出期限 平成23年2月10日（木）

8. 選抜の方法

推薦による入学者の選抜は、在籍する学校長から提出された推薦書、調査書及び面接の総合判定とします。なお、電気電子工学科、電子制御工学科の面接では、基礎的な問題について口頭試問を行います。

面接の日時・場所

期 日	集 合 時 間	場 所
平成23年1月22日(土)	午前9時	佐世保工業高等専門学校

※ 志願者数により、午前と午後に分けて面接を行うことがあり、その場合には事前に連絡いたします。

9. 選抜結果の通知

選抜の結果は、本人及び在籍する学校長宛に文書で平成23年1月27日(木)に発送します。また、合格内定者の受検番号は、1月27日（木）午前10時に本校ホームページでも発表します。

アドレス <http://www.sasebo.ac.jp/>
(電話による問い合わせには、一切応じません。)

10. 入学確約書の提出

合格内定通知を受けた者は、平成23年2月10日(木)までに「入学確約書」を提出しなければなりません。期限までに提出しない者は、入学の意志がないものとして取り扱います。

11. 推薦入学に不合格となった者の学力検査の受検

推薦入学を志願した者が不合格となった場合は、〔4〕の「学力検査による入学者の選抜」により、学力検査を一切何の手続きをしなくても自動的に受検することができますので、受検を希望する者は、推薦入学の出願の際、入学志願書の「推薦入学志願者で合格内定とならなかった場合の学力検査受検希望の有無」の欄の「有」を○で囲み提出してください。（この場合、出願書類等の再提出及び検定料の再納付は必要ありません。）

また、推薦による入学者の選抜は第1志望のみでの選抜となりますが、学力検査による入学者の選抜は第3志望までとなっておりますので、学力検査の受検を希望する場合には、必ず、入学志願書に第2志望・第3志望を記入し、また、入学志願書と受検票にある学力検査の受検地を○で囲んでください。受検を希望しない場合及び第2志望・第3志望が無い場合は斜線を引いてください。

12. 合格発表

『〔4〕学力検査による入学者の選抜』の合格者と同時に発表します。

6ページを参照してください。

(電話による問い合わせには、一切応じません。)

13. 注意事項等

- (1) 出願書類に不備等がある場合、受理しないことがあります。
- (2) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学を取り消すことがあります。
- (3) 願書提出後は、志望学科、受検地その他の記載事項の変更は認めません。
- (4) 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
また、払い込み済みの入学検定料については、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 本校に出願書類を提出しなかった場合または提出したが受理されなかった場合
 - ② 誤って二重に払い込んだ場合
- (5) 出願書類提出後1月19日(水)までに受検票が到着しない場合は、本校学生課教育支援係に問い合わせてください。
- (6) 検査当日、受検票は必ず持参してください。なお、受検についての注意事項は、受検票に記載していますが、その他のことは検査当日掲示しますので、特に注意してください。
- (7) 合格者は、本校が指定する日に登校し、入学手続きを行ってください。
なお、当日、欠席した者は、入学の意志がないものとして取り扱います。
- (8) その他の問い合わせについては、電話または郵便で直接本校に問い合わせてください。

〔4〕 学力検査による入学者の選抜

1. 出 願 資 格

- (1) 中学校を卒業した者（平成23年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者（平成23年3月修了見込みの者を含む。）
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第95条）

2. 志望学科の選定

機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、物質工学科の4学科のうちから第3志望まで選定することができます。

3. 願 書 受 付

期 間	平成23年1月28日（金）から2月4日（金）まで（必着）
時 間	午前8時30分から午後5時まで。土・日曜日及び祝日は受け付けません。
場 所	〒857-1193 佐世保市沖新町1番1号 佐世保工業高等専門学校学生課教育支援係

4. 出 願 手 続

入学志願者は、次の書類等を取りまとめ、出身学校（卒業見込みの者にあつては、在籍する学校。以下同じ。）を経て本校学生課教育支援係に提出してください。願書を郵送する場合は、必ず書留郵便としてください。

① 入学志願書・写真票・受検票	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。また、写真票及び受検票の所定欄には、3ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽のたて4cm、よこ3cmの写真を貼付してください。
② 入学志望理由書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
③ 調 査 書	本校所定の用紙または公立高校用様式を使用し、出身学校長が証明したもの。
④ 入 学 検 定 料	16,500円 本校所定の振込用紙により志願者本人の名前で、 金融機関（ゆうちょ銀行を除く）の窓口から振り込んでください（ATM使用不可） 。振り込み後「 検定料納付証明書 」を入学志願書の裏面に貼付してください。 振込期間 平成23年1月17日（月）～2月4日（金） ※ 振り込みの際は、銀行の営業日や営業時間を十分に考慮して手続きを行って下さい。なお、検定料を願書受付最終日に振り込む場合においても、最終日午後5時までに 出願書類一式 を提出しなければなりませんので注意してください。
⑤ 返 信 用 封 筒（別 添）	受検票送付用として、あて先・郵便番号を明記し、80円切手を貼付したもの1枚（速達を希望する場合は350円切手を貼付してください。）ただし、持参の場合は不要です。
⑥ あ て 名 票	1枚に志願者本人の住所、氏名、電話番号を記入したもの。

※ 出願資格（3）の者は、上記③調査書に代え履修証明書、成績証明書等を添えて直接本校に申し込みください。

5. 身体等に障がいがある入学志願者との事前相談

入学志願者で身体等に障がいがあるため、受検上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、出願に先立ち学生課教育支援係に相談してください。

なお、相談の時期は、回答に要する時間等を考慮し、「学力検査による選抜」の志願希望者については、平成23年1月21日（金）までとさせていただきます。

6. 学年成績一覧表の提出

平成23年度の公立高等学校入学者選抜実施要領等により、在籍する学校長が作成した3年生の学年成績一覧表（学級別・番号順）を提出してください。その際、必ず本校受検者のデータが識別できるよう該当欄に氏名を明記し、マーカー等で下線を引いてください。

提出期限 平成23年2月10日（木）

7. 選 抜 方 法

学力検査による入学者の選抜は、学力検査、出身学校からの調査書、学年成績一覧表などの総合判定とします。

(1) 学 力 検 査

学力検査は、理科・英語・数学・国語・社会の5教科について筆記試験を行います。

(2) 検 査 日 時

期 日 \ 時 間	9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	13:30～14:20	14:40～15:30
平成23年2月20日(日)	理 科	英 語	数 学	国 語	社 会

(3) 学力検査の実施場所

佐世保検査場	佐世保工業高等専門学校	佐世保市沖新町1番1号
長崎検査場	長崎県建設総合会館	長崎市魚の町3番33号
諫早検査場	諫早商工会館	諫早市高城町5番10号
唐津検査場	唐津市民会館	唐津市西城内6番33号

8. 合 格 発 表

(1) 発表日時 平成23年3月2日（水） 午前10時

(2) 発表方法 合格者は本校に受検番号を掲示するとともに、当日、本人宛に文書を発送し、出身学校には合格者の受検番号表を発送します。

また、合格者の受検番号は本校ホームページでも発表します。

アドレス <http://www.sasebo.ac.jp/>

（電話による問い合わせには、一切応じません。）

9. 注意事項等

- (1) 出願書類に不備等がある場合、受理しないことがあります。
- (2) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学を取り消すことがあります。
- (3) 願書提出後は、志望学科、受検地その他の記載事項の変更は認めません。
- (4) 一度受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還いたしません。
また、払い込み済みの入学検定料については、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。
 - ① 本校に出願書類を提出しなかった場合または提出したが受理されなかった場合
 - ② 誤って二重に払い込んだ場合
- (5) 出願書類提出後2月9日(水)までに受検票が到着しない場合は、本校学生課教育支援係に問い合わせてください。
- (6) 学力検査は、全国の国立高専が同一日時を実施するため、当日、悪天候等で交通に支障が生じた場合でも予定どおり実施します。十分注意してください。
- (7) 検査当日、受検票は必ず持参してください。なお、受検についての注意事項は、受検票に記載していますが、その他のことは検査当日掲示しますので、特に注意してください。
- (8) 合格者は、本校が指定する日に登校し、入学手続きを行ってください。
なお、当日、欠席した者は、入学の意志がないものとして取り扱います。
- (9) その他の問い合わせについては、電話または郵便で直接本校に問い合わせてください。

〔5〕 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

〔6〕 募集要項等の請求

募集要項その他出願に必要な諸用紙は、本校「学生課教育支援係」に請求してください。郵送希望の場合は、あて先・郵便番号を明記し、送料（切手290円）を同封しお申し込みください。

なお、返信用封筒は不要です。

出願関係書類の請求並びに出願に関する問い合わせ先

〒 857-1193 佐世保市沖新町1番1号
佐世保工業高等専門学校 学生課教育支援係
電 話 (0956)34-8428
F A X (0956)34-8425
E-mail nyusi@post.cc.sasebo.ac.jp
ホームページアドレス <http://www.sasebo.ac.jp/>

佐世保工業高等専門学校入学案内

1 創 立 昭和37年4月1日

2 本校の目的 本校は、「深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を養い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた有為な技術者を育成する」ことを目的とした高等教育機関です。卒業者には「準学士」の称号が与えられます。

3 修 業 年 限 5年

4 教 育 課 程

一般科目（各学科共通）

○ 必 修 科 目

国語、日本語と文学、技術者倫理、歴史、地理、政治経済、国際関係論、代数、幾何、代数幾何、微積分、物理、化学、生物、保健体育、健康と科学、芸術、英語、英作文、英会話、コミュニケーション

○ 選 択 科 目

地理学、法学、経済学、哲学、歴史学、数学特論、自然科学概論、英会話、ドイツ語、中国語、ハンガール語、フランス語

専門科目（機械工学科）

○ 必 修 科 目

応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用数学Ⅲ、一般物理、情報処理Ⅰ、材料力学、弾性力学、材料学、機械工作法、工作機械、機構学、設計法、設計製図、機械力学、熱力学、熱工学、流体工学、計測工学、電気工学、メカトロニクスⅠ、制御工学、工学通論、創作実習、機械工作実習、ものづくり総合実習、機械工学実験、卒業研究

○ 選 択 科 目

設計製図Ⅰ、設計製図Ⅱ、文献購読、機械工学特別演習、情報処理Ⅱ、材料力学特論、工作特論、熱工学特論、流体工学特論、メカトロニクスⅡ、トライボロジ、工場実習、工業技術国際研修

専門科目（電気電子工学科）

○ 必 修 科 目

応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、電気数学、一般物理、工業物理概論、電気電子工学基礎、情報工学基礎演習、電気磁気学Ⅰ、電気磁気学Ⅱ、電気回路Ⅰ、電気回路Ⅱ、電気電子計測Ⅰ、電気電子計測Ⅱ、電気電子材料、電子工学、電子回路Ⅰ、電子回路Ⅱ、通信工学、デジタル回路、プログラミング、情報処理、情報通信ネットワーク、電子計算機応用、電気機器Ⅰ、電気機器Ⅱ、制御工学、電力工学、電気法規・電気施設管理、電気電子製図演習、創作実習、電気電子情報工学実験Ⅰ、電気電子情報工学実験Ⅱ、卒業研究

○ 選 択 科 目

高電圧工学、情報工学、電気設計、信号処理、無線通信概論、工場実習、工業技術国際研修

専門科目（電子制御工学科）

○ 必修科目

応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用数学Ⅲ、一般物理、生産加工Ⅰ、生産加工Ⅱ、工学基礎概論、図学、製図、情報処理、デジタル回路、ソフトウェア科学Ⅰ、ソフトウェア科学Ⅱ、数値プログラミング、情報通信、システム・プログラム論、基礎電気工学、電気工学、電気回路Ⅰ、電気回路Ⅱ、電気磁気学Ⅰ、電気磁気学Ⅱ、電子工学、電子回路Ⅰ、電子回路Ⅱ、通信工学、計測工学、制御工学、電子制御工学、創作実習、工学実験・実習、卒業研究

○ 選択科目

ロボット工学、制御工学特論、情報通信特論、知識工学、画像工学、システム工学、工場実習

専門科目（物質工学科）

○ 共通必修科目

物質化学総論、生物工学総論、応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、一般物理、情報処理Ⅰ、無機化学、有機化学、分析化学、物理化学Ⅰ、物理化学Ⅱ、化学工学、理論有機化学、微生物学序論、生物化学Ⅰ、生物化学Ⅱ、機器分析、工業英語、反応工学、電気・電子工学概論、機械工学概論、工学基礎、品質管理、環境工学、物理化学Ⅲ、創作実習、技術者基礎、物質工学実験Ⅰ、物質工学実験Ⅱ、物質工学実験Ⅲ、物質工学実験Ⅳ、卒業研究

○ 物質コース必修科目

機能材料科学、無機材料科学、有機材料科学

○ 生物コース必修科目

生体触媒工学、応用微生物学、細胞・遺伝子工学

○ 共通選択科目

情報処理Ⅱ、資源化学、食品プロセス工学、生物環境工学、植物学、工場実習

5 専攻科

現在、高専卒業後２年間の修学期間の専攻科を置く高専が全国に５１校あります。

平成９年度より本校にも専攻科が設置され、１学年２０名程度の卒業生を受け入れています。

本校の専攻科は、機械工学専攻、電気電子工学専攻及び物質工学専攻の３専攻があります。

専攻科では、高専卒業生が高専から引き続き、より高度な高専の教育理念に基づいた教育と研究の指導が受けられます。専攻科教育課程の必要な単位を修得し、一定の要件を満たした場合、大学評価・学位授与機構の審査により学士（工学）の学位を取得でき、さらに、大学院修士課程に進学することができます。本校専攻科でも、平成２２年３月現在修了生 延 ２３８名中 ２３４名が学士（工学）の学位を取得し、このうち ８１名が国立大学大学院修士課程へと進学しています。

なお、本校では、平成１５年度より J A B E E 対応プログラム（第 6 項参照）をスタートさせました。

6 日本技術者教育認定機構（J A B E E）対応教育プログラムについて

高専本科5年課程を経て、専攻科教育課程の必要な単位を修得し、一定の要件（学修成果レポートの提出と小論文試験）を満たせば、大学評価・学位授与機構から『学士（工学）』の学位が授与され大学学部卒業と同等となり、大学院への進学も可能となります。

また、平成15年度からは、本科4、5年と専攻科を合わせた4年間の教育において、日本技術者教育認定機構（J A B E E）対応の技術者教育プログラム「複合型もの創り工学」を設定し、平成16年にその審査を受け本審査に合格しました。平成16年度修了生より「J A B E Eプログラム修了生」として国際的に認められた技術者として認定されます。

学習・教育目標

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (A) 工学の基礎と専門 | (B) 地球的視点と技術者倫理 |
| (C) コミュニケーション能力 | (D) 複眼的かつ実践的能力 |
| (E) 自主・自立と協調性 | |

7 学 寮

本校は、教育の一環として、共同生活を通じて人間形成を図るため、第1学年及び第2学年の男子学生について全寮制（自宅から通学する場合に限り、願い出により免除されます。）を実施しており、女子学生及び第3学年以上の男子学生については、希望者を選考して入寮を許可しています。第1学年及び第2学年の男子寮室は、1室3人、女子寮室及び第3学年以上の男子寮室は1室1人または2人、各寮室は洋室で各人ごとにベッド、ロッカー、自習机、椅子、本棚を備え付けており、冬期は、全寮室スチーム暖房を行っています。

ただし、女子学生及び第3学年以上の男子学生については、入寮希望者が多い場合には、入寮が許可されない場合があります。

8 入学後の所要経費

名 称		区 分		備 考
		入学時（4月）	10月	
入 学 料		84,600円	0円	合格者登校日までに納付
授 業 料		117,300円	117,300円	高等学校等就学支援金の助成あり
学 生 会	入 会 金	1,500円	0円	2学年以降は年2回に分納
	会 費	15,000円	0円	
そ の 他 諸 納 金		約80,000円	0円	2学年以降は年2回に分納
教 科 書 ・ 参 考 書 等		約30,000円	0円	
製図用具・電卓・体操衣		約33,000円	0円	9月頃実習服の購入が必要（4,000円程度）
制 服		約40,000円	0円	
学 寮	寄 宿 料	4,200円	4,200円	(月額) 700円
	寮 費	40,000円	48,000円	(月額) 8,000円
	特 別 寮 費	2,000円	0円	入寮時のみ
合 計		約447,000円	169,500円	

※ 上記の経費は平成23年度の予定額であり、入学時及び在学中に改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

また、学寮経費については、別途1日当たり950円の給食費が毎月必要です。

（入寮者は、1ヶ月当たりに換算すると約3万6千円が必要ということになります。）

9 入学料・授業料免除及び徴収猶予制度

(1) 入学料について

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡または風水害等の災害を受ける等、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額または半額を免除する制度があります。また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合は、徴収の猶予を許可する制度があります。

(2) 授業料について

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる学生に対しては、選考のうえ授業料の全額又は半額を免除する制度があります。また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合は、徴収の猶予を許可する制度があります。

10 高等学校等就学支援金制度

家庭の状況にかかわらず、全ての意思ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、学生の授業料に充てる高等学校等就学支援金を創設し、家庭の教育費を軽減するものです。

対象となるのは1～3年生（原則36ヶ月）で、公立高校生が負担軽減される額と同額の月額9,900円（年間118,800円）が助成されます。

また、低所得者世帯の学生については、保護者等の所得に応じて、1.5倍～約2倍した額を上限に助成されます。

11 奨学制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業、人物共に優れ、かつ健康であって学資の支弁が困難と認められる学生に対しては、選考により奨学金が貸与されます。

奨学生には中学校在学中に予約採用された者と、入学後新たに出願して採用される者があり、入学後の募集は4月に行います。

平成22年度の奨学金の種類と貸与月額下表のとおりです。4年生になると増額されます。また、貸与額については、それぞれ二通りあり選択する事ができます。

入学年度	学 年	貸 与 月 額	
		自 宅	自 宅 外
平成 22～20 年度 (2010～2008)	1～3 年	21,000 円 または、10,000 円	22,500 円 または、10,000 円
平成 19～18 年度 (2007～2006)	4～5 年	45,000 円 または、30,000 円	51,000 円 または、30,000 円

※4年生以上は第二種奨学金（有利子）の貸与を受けることもできます。

そのほか、長崎県育英会や佐世保市、大村市等においても奨学制度がありますので、ご質問等があれば直接各市町村にお問い合わせください。